

### ○モニターツアーについて

スイス・モビリティとは、自転車やカヌー、トレッキングなど人力のアクティビティに公共交通を組み合わせた、移動そのものを楽しむ体験観光です。

道北地域の雄大な自然や農山漁村景観などの観光資源は、この取組を進めるのにふさわしいフィールドであり、国民の健康志向、環境意識の高まり、スポーツ・体験型ツーリズム推進を背景に、関係機関が連携して環境整備を進めています。

このツアーは、道北9市町村（士別市、名寄市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町）で観光の取組を行っている自治体・観光協会の担当者や旅行会社の企画担当の方にその一部を体感していただき、今後の観光施設の磨きあげや見せ方、必要となる地元の受け入れ体制や整備、PR方法等についてまとめて、周遊メインルートを確認するための参考とするものです。

北海道開発局旭川開発建設部では、北海道総合開発計画の目標である「人が輝く地域社会の形成」に向け、地域が一体となって進める「道北版スイス・モビリティ」の取組を支援しており、このモニターツアーを担当して開催しました。

日時:平成28年9月14日(水)10:00~15日(木)17:15

場所:和寒町役場をスタート

参加者数:44名

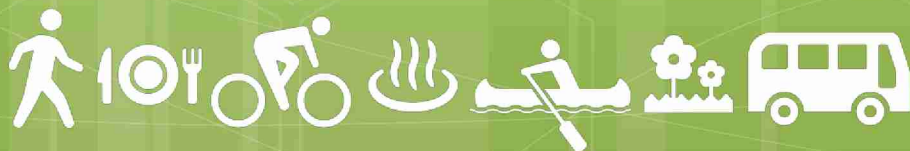
## 9市町村周遊メインルート確立事業

# 道北版 スイス・モビリティ モニターツアー

## 報告書（概要板）



北海道開発局旭川開発建設部  
地域振興対策室



和寒町役場に集合後、1日目は以下のように移動しました。サイクリングの後のソフトクリーム(羊と雲の丘)や大福もち(道の駅 もち米の里☆なよろ)の試食では、女性参加者から歓声が上がっていました。また、宿泊地での勉強会では、積極的な意見交換が行われました。



和寒町役場駐車場集合  
出発式



【和寒町】  
南丘森林公園（車窓見学）



【和寒町】  
塩狩峠夫婦岩(フットパス体験)



【剣淵町】  
レークサイド桜岡（昼食）



【士別市】  
羊と雲の丘  
(施設見学/ソフトクリーム試食)



【剣淵町】  
剣淵町サイクリングコース試走



【剣淵町】  
眺望の丘バス停  
(施設見学・サイクリング準備)



【剣淵町】  
道の駅 けんぶち（施設見学）



【名寄市】  
道の駅 もち米の里☆なよろ  
(施設見学/お菓子試食)



【名寄市】  
天塩弥生駅  
(施設見学/富岡様)



グランドホテル藤花  
チェックイン



勉強会（銀河の間）

この日の午前中は北海道開発局の開発調査説明会があり、その後下川町公民館で箸づくり体験。全員、真剣そのものの表情で「My箸」づくりに挑戦しました。午後からは朱鞠内湖キャンプ場を起点に、自転車で道の駅 森と湖の里ほろかないまで走破しました。



北海道開発局  
開発計画調査説明会  
(サイクリング)



【下川町】  
下川町公民館（箸づくり体験）



【下川町】  
ハンター（昼食）  
矢内菓子舗 雪ふりプリン試食



【幌加内町】  
朱鞠内湖キャンプ場  
(施設見学/サイクリング準備)



【幌加内町】  
道の駅 森と湖の里ほろかない  
(サイクリング終了/ソフトクリーム試食)



【幌加内町】  
第3鉄橋（施設見学）



【幌加内町】  
幌加内展望台（施設見学）



【幌加内町】  
道北モビリティサイクリング  
コース試走(サイクリング体験)

## ツアー参加者の声（抜粋）

- ・フットバス（夫婦岩）ではいいものを見られて感動したが、近すぎてよく見られなかったので、少し離れて写真が撮れる場所などがあればよかった。
- ・フットバスで森の中を歩いたのは、ふだん見られない景色が見られてとてもよかった。
- ・ふだん運動していない人は、急な登りで体調を崩してしまうようなこともあるので、そこをどう改善していくかが課題になるのでは。
- ・自転車で長い距離を初めて走ったが、ふだんの自転車と比べて疲れも少なく、景色も楽しめた。
- ・せめて国道にサイクリングロードを作っていかなければ、自転車に乗る人の安全はできないのではないかと感じた。
- ・タイヤの空気圧など出発前の点検の知識を得るための勉強も必要なのかなと思った。
- ・2日間の行程の中で、サイクリングであれば休憩の時間など、息抜きができていろんな楽しみ方ができるような配慮が大事ではないか。

## 勉強会でのアドバイザーからのコメント



### 旭川ふるさと旅行 喜久野 夕介 氏

美瑛、富良野に比べて人や車が少ない。まだ未開発でフロンティア的エリアであることが売りになるのではないかと。ガイドが見つからないツアーでは、マップや標識の整備が絶対に必要になる。日本語のわからない海外客向けにも配慮が必要。マップは単にコースを示すだけでなく、「標高差」「距離」など、細かいサポートがあることが望ましい。自分たちが楽しいと思えなければ人に勧めることはできないので、実際に走ってみて、「ここが楽しい」というポイントを見つけたい。



### 北海道オプションツアーズ 菅野 直人 氏

対象をどこにもってくるのが重要。本格的なサイクリング指向のある客向けなのか、子供やお年寄り、日本人から外国人まで楽しめるコースにするのか、どの地域からきてもらいたいのかなど、はっきり決めたほうがよい。はじめにターゲットをしばることによって広がりも出てくる。初めから「ああいう人もこういう人も」というのは難しい。受け入れ態勢の整備も重要。キャパシティをきちんと押さえたうえで、ターゲットを絞ってPRした結果、ターゲット層以外の訪問客が増加したというケースもある。



### 旭川まるうんトラベル 林 和寛 氏

やはりガイドの重要性を感じる。「ここ熊が出るんですか？」という質問に即座に答えたり、「ここから20kmは信号が一つもありません。」など、北海道民には当たり前のことを、そっと伝えてくれる人、ハッと気付かせてくれる人。そういうソフト面でのポイントが加われば、どの地域でも磨き上げられるポイントが見えてくるのではないかと。また、「女性の視点」もとても重要で外せない。発信力、購買力、行動力、全てにおいて女性が上なので、女性の意見をどんどん参考にすることが大切。



### 北日本観光社 岡村 憲一 氏

旅行の商品化にあたって重要なのは安全面。しっかりしたガイドをつけることと、コースの整備が大切。ちょっとした段差や、雨で滑ることが、思わぬ大けがにつながる。上川ではブルーの専用ラインを作ったところもあるが、自転車は軽車両なので、車道のどこを走るかなど、細心の注意が必要。また、客に不満を与えるか与えないかも重要なポイントで、他と違ったものを見に来る客に対して、ただ走るだけでなく、スイーツなど、いろいろな工夫で楽しませることが大切だと思う。

# ツアーコース



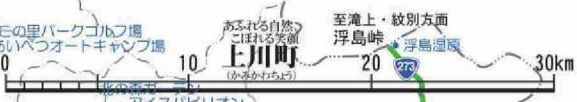
**美深警察署**  
 ☎ 651 192 552  
 美深町字美深263番地  
 TEL: 01656-2-1110  
 管轄: 美深町・音威子府村・中川町

**名寄警察署**  
 ☎ 272 686 331  
 名寄市大通南1丁目2番地  
 TEL: 01654-2-0110  
 管轄: 名寄市・下川町

**道の駅 松の里けむり**  
 ☎ 272 440 183  
 名寄市風連町西町334番地1  
 TEL: 01655-7-8686

**士別警察署**  
 ☎ 272 048 071  
 士別市東5条5丁目1  
 TEL: 0165-23-0110  
 管轄: 士別市・剣淵町・和寒町・幌加内町

- 凡 例**
- 9/14 バス
  - ⋯ 9/14 自転車
  - 9/15 バス
  - ⋯ 9/15 自転車



レークハウスしほりない  
 朱鞠内自然公園キャンプ場



天塩弥生駅  
 山形神社のハルニレ



下川町公民館  
 森のながヨックル (宿泊各種体験)



観加内展望台  
 蕎麦の里



主別河川防災ステーション  
 ぶくろ水部公園  
 ぶくろ青年の家  
 しほり・サウナ・ターミナル  
 野球場  
 パークゴルフ場



桜ヶ丘公園  
 ・万葉長城  
 ・野球場  
 ・パークゴルフ  
 ・山村広場  
 ・土器運動場  
 ・ふるさと交流館



五味温泉・エコハウス美築



朝日三望台ジャンツェ  
 あさひスキー場  
 あさひサンライズホール  
 地元交流センター「和が舎」



天塩岳 (標高1558m)



道の駅 松の里けむり  
 ☎ 701 707 424  
 幌加内町字政和第一  
 TEL: 0165-37-2070



道の駅 松の里けむり  
 (Shirai no Yatai)

# ツアーにおけるサポート体制について

## ■事前のガイダンス

しおりに掲載の手信号の表示方法等について解説。



## ■サイクリング試走前のオリエンテーション

サイクリング試走に先立ち、コース説明や危険回避のための注意事項等についてオリエンテーションを実施しました。



## ■携帯品

救急箱、空気入れ、工具類等、ツアーに必要な備品等をサポートカーに搭載して携行しました。



## ■サポートカー（伴走車）

全コースを通じ、走行するサイクリストの最後尾にハザードランプを点灯して伴走し、万々の場合に備えました。



## ■サポートカー（自転車積載車）

ツアー中、適当な場所で待機し、サイクリング終了後は適宜自転車を梱包・積載しました。



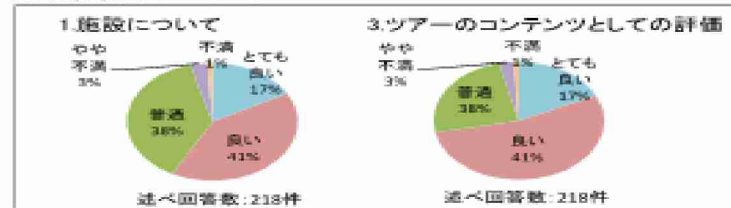
## ■バス

急に天候が悪化した場合、バス見学に切り替えられるよう、ツアーのバスはサイクリング時も近くを走行することとしました。

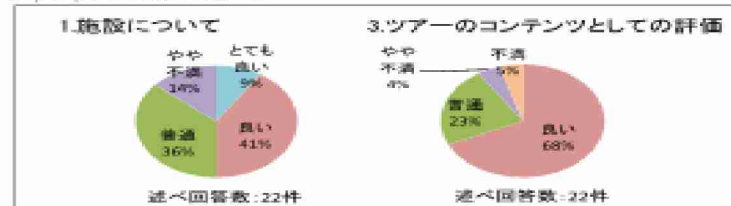


# アンケート結果

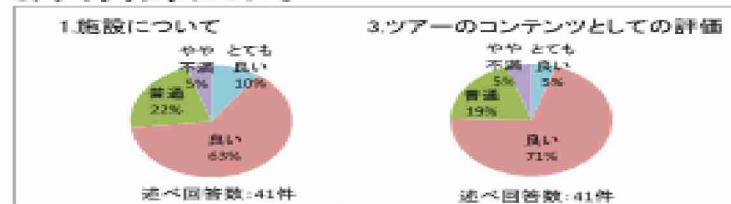
## A) 施設見学について



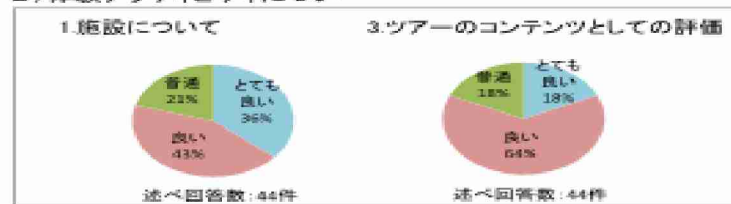
## B) フットパスについて



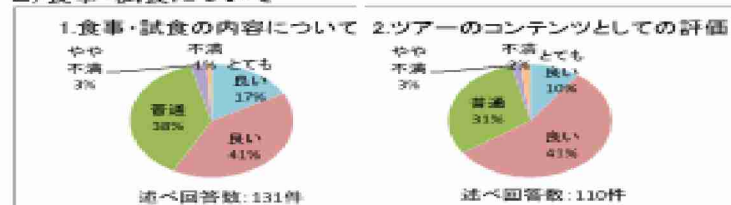
## C) サイクリングについて



## D) 体験アクティビティについて



## E) 食事・試食について



## 特に面白かったところ、興味ぶかったもの

- ・「天塩弥生」。本人から聞く話の説得力、人柄がすごく良かった。
- ・「箸づくり」。初めて箸を作ったが、難しいけれど楽しい感じがたまらなく良かった。
- ・「剣淵 道の駅」。施設も良く、見学ポイントも豊富。

## サイクリングに関する感想

- ・休憩ポイントにくつろぎスペースがない。サイクルスタンドがないのが不便。自動販売機くらいは休憩ポイントにあるとよい。
- ・徒歩だと気の遠くなる距離も、自転車では問題なくこなすことができる。その気持ちよさを感じた。車では感じることのできない風を浴びることができたのも、自然と一体になれる気がして良かった。

## フットパスやサイクリング等における路面・安全看板・安全施設等について

- ・路面の小さな段差がサイクリングを行う面で危険だと感じた。案内看板が全然足りない。もっと増やせばガイドがなくても十分楽しめると思う。
- ・フットパスでは途中途中で距離などの看板を設置しては（途中で不安になる）。サイクリングでは、地図を整備できると良いと思う。

## フットパスやサイクリング等における施設（休憩・駐輪・トイレ等）について

- ・休憩場所や水飲み場、トイレ、ビューポイント、路面状況、高低差、スイーツ（の店）などが記載されたマップが欲しい。

## モニターツアーで気づいたこと、改善すべき点

- ・サイクリングやフットパスと地域の食を組み合わせたツアーは魅力的だと思う。各地域でのおもてなしの体制と、ガイドが重要と感じた。